

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】

〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-550-0747 FAX.042-550-0059

Rotary
第2580地区



ロータリーの
マジック

東京秋川ロータリークラブ
2024-25年度 4号

2024年7月25日
第2382回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	43	25	16	2	60.98%

本日のテーマ

委員長方針 第2回

次回以降のプログラム

8月 1日(木) 全員協議会

8月 8日(木) 卓話 秋川消防署長 宮澤 裕 様

8月22日(木) イニシエーションスピーチ 中村 文典 会員

第2381回の出席率訂正 会員43名 出席26名 メークアップ7名 欠席9名 免除1名 訂正出席率 78.57%

会長方針

絆と喜び；仲間と笑顔で奉仕を

本日のお客様

・東京西ロータリークラブ 西村 隆 様

会長報告 平宮 力夫 会長

RLIファシリテーター、ロータリーリーダーシップ研究会が開催されます。
東京で2024年9月5日(木)、10月16日(水)、11月13日(水)。
沖縄が10月19日(土)、11月9日(土)、12月21日(土)。
ロータリーを学べる講習になります。
ぜひご参加していただければと思います。



幹事報告 佐藤 慶 幹事

- ・訃報のお知らせです。元会員の玉井光夫さまが2024年7月20日87歳でお亡くなりになられたということで 謹んでご報告させていただきます。
- ・7月21日(日)に福生ロータリークラブ、七夕まつりに参加させていただきました。
- ・7月22日(月)3RC会長幹事会に参加させていただきました。
- ・欠席が多く見受けられます、月々のアフター例会の参加いただきメークアップをお願いしたいと思います。

— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **2,000円**

・進藤 晃 君 早退致します。

委員長方針

○プログラム委員会 委員長 田中 龍樹 副委員長 松村 博文

・目的方針

奉仕活動を充実させ例会に参加する意義を拡充するために地域、社会で活躍する方々の卓話を企画する。

・委員長より一言(代理 松村 博文)

会長が掲げる、出席率の向上につながるような例会を開催、対外的にはロータリーを知っていただき、ロータリーのファンが増えるようなオープン例会を検討しています。

○出席奨励委員会 委員長 高橋 和宏 副委員長 沼田 哲史

・目的方針

会長方針に基づき、クラブ例会出席の重要性を会員に認識していただき出席率向上を目指します。出席ができなかった会員にはメイクアップを推奨します。

・委員長より一言(代理 沼田 哲史)

出席向上に積極的に呼びかけてまいります。よろしくをお願いします。

○青少年奉仕委員会 委員長 乙戸 康博 副委員長 久保田 竜啓

・目的方針

未来を担う子ども達は国の宝であり親にとってのわが子は目に入れても痛くないとも言われかわいがられています。そんな子供たちに見近では感じることでできない気付き与えられる事業の開催を実施してまいります。

また子ども達に家庭での学びや学校教育での学びでは経験できない経験をしていただく為に地域社会の方々へ協力していただき広域的に団体スポーツを通じスポーツでしか経験できない感動や悲しみ悔しさや喜びを経験していただき大きく成長していただく時を奉仕させていただきます。そして絆と喜び・仲間と笑顔で奉仕を心がけ活動してまいります。

・委員長より一言(代理 井上 文喜)

青少年に関する継続的な事業の開催と検討、新規の事業の開催と検討を行っていきます。よろしくをお願いします。

○育成協力委員会 委員長 田中 昭光 副委員長 中村 一広

・目的方針

秋川少年消防団の育成

・委員長より一言

消防少年団の活動を通して秋川流域の青少年がより良い経験ができるように団体及び活動をサポートする・秋川ロータリークラブを代表し入団式に出席し各行事に参加する、以上になります。よろしくお願いたします。

○国際奉仕委員会 委員長 坂谷 充孝 副委員長 麻沼 恵

・目的方針

国際間の理解、親善、平和を推進するための活動を基本とし、友好クラブとの信頼関係づくりに取り組む。その実現のために、会員の積極的な参加と協力をお願いする。

・委員長より一言

友好クラブであるセントラルダバオロータリークラブと交流ができたらと思っています。また2025年6月21日～25日に開催される国際大会2025がカナダ、カルガリーで開催されます。遠いところではあるのですが2桁届かない人数で行きたいと思っています。最後に姉妹クラブの韓国密陽ロータリークラブとはせつかくのご縁もありますし、なくすというよりは今年は様子見でいいのかなと考えております。以上3の柱で国際方針につなげていきたいと思ひます。よろしくお願いたします。



松村 博文 君



沼田 哲史 君



井上 文喜 君



田中 昭光 君



坂谷 充孝 君

会長の第1回例会の続き

この前の続きだと言ってますけども、大体話は終わってるんですよ。もう一回肝心なところ、皆さんにご紹介すればなと思っております。社会奉仕活動、これから我々がやっていかななくちゃならない事を皆さんにご報告いたします。

まずクラブ奉仕活動今年度の計画ですけどね。一つ目クラブの成長。会員増強マイロータリーの全員登録。クラブの質の向上をさせるための活動。現在抱えている問題課題っていうのは新入会員とのコンタクトがうまくいってないんじゃないかなっていうのが一つあります。それをフォローアップしていただくことなんですけども、あと職業奉仕活動なんですけども、継続している活動、会員企業、地域企業の職場見学。今年度の計画では秋川流域に貢献できるような事業を実行いたします。それと社会奉仕活動ですけども、継続している活動、ヤマメ孵化放流事業、ふれあいクリスマス、秋川流域の小中学校の校長先生の交流会。

今年度の計画ですけども、ずっと地元の地域社会への奉仕活動をなんかやってみたいと思っております。あと、国際奉仕活動、継続している活動、友好クラブのフィリピン、セントラルダバオロータリークラブとの交流で友情をつかみたい。

あと、今年度の計画、他国と自国の友好クラブを検討する。あと、2025年6月21日25日、国際大会、カルガリーに参加を奨励いたします。

現在抱えている問題課題っていうのは姉妹クラブの韓国密陽ロータリークラブのこれを検討したいなと思っております。

青少年奉仕活動、継続しているもの少年野球大会。中学生女子バレーボール大会、少年ミニサッカー大会。今年度の計画なんですけども、次世代の若い人たちのいろいろな面で応援育成にうん活動していきたいなと思っております。

現在抱えている問題。各種団体と相談してちょっと整理をつけたいものが何点かあります。ポリオ根絶活動、継続している活動ロータリーポリオ寄付。地域の方々にポリオ根絶活動を知ってもらう。現在抱えている問題なんですけど、皆さんにポリオに関して勉強していただくということも一つ考えております。

自クラブの養育っていうのは奉仕活動なんかに関して会員が協力して目的を達成するっていうのは本当に皆さん協力してやってるなって思っております。それで弱点の出席率が足りないっていうことなんですけども、何が原因かなっていうのもこれからやっていきたいと思っております。

会員増強どこのクラブは同じなんですけども、やっぱり課題となっております。今現在47から43名に減少しています。秋川の自クラブだと50人ぐらいやっぱりないと運営の面でね、ちょっと大変じゃないかなとは思っております。

弱くなった場合には本当に大変なんです、会員に入会後のオリエンテーションがやっぱり皆さん必要だと思えます。ロータリーの活動を理解することで、ロータリーが楽しくなり、長く会員でいることにつながると思えます。やはり一番は先輩会員が寄り添うことであると私は思っております。自クラブの話をしたり、同好会の活動を一緒にして仲間になってもらうってことが一番かと思えます。ここにやっぱりあの若い人と年配の方。あの世代を超えた会員同士の親睦が重要性と思えます。やっぱり定着するにはクラブに輝きがないとダメじゃないかと思っております。クラブの輝き、魅力があることが会員増強も退会防止にも必要と私はよく考えております。あと例会出席なんですけども、ロータリアンの三大義務ってよく言いますが、まず会費の納入ですね、ロータリーの友の購読。例会出席の一定の基準の例会出席を果たす義務があります。これ60%以上ってなっております。とにかく欠席した場合ですよね。メイクアップいろんなところに行っていて、メイクアップしていただければ。向上し質も上がるんじゃないかと思えます。ロータリー例会の原点は都度集まることだと思うんですけども、ロータリー相互の奉仕の理想の歌詞にも奉仕の理想に集いし友よってあると思えますけども、我々の生業でも集いて測る心は一つ。だからロータリーの例会は集まるっていうことで良いと私は思っています。まあ例会はですね、仲間を作ったり、あとリーダーシップトレーニングっていう場所だと思うんですけども、それが大体ロータリーソングの歌詞に内容が現れてます。

ロータリアンの奉仕活動の第一歩は、クラブの例会に出席をする。ことだと思えます。そのためにはですね、霊界の運営を出席したくなる魅力あるものに、みなさんと一緒に考えて実行していきたいと思っております。

1年間、幹事ともども一つよろしくお願ひします。

◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央